

※「はらまち九条の会」は、超党派の自由な市民のゆるやかな会で、匿名でもけっこうです。
現在の会員409名。さらに会員を募集中です。年会費千円をお願いしています。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.130

2010(平成22)年4月2日(金)発行

踏台

<1743年のこの日、アメリカ独立宣言の起草者・第3代大統領ジェファソンの誕生日>

バージニア州知事、駐仏公使をへて、ワシントンの下で初代国務長官、アダムスの副大統領、次いで第3代大統領となる。ルイジアナを購入、バージニア大学を創設。「アメリカ民主主義の父」。
○「すべての人間は平等に創造されている。彼らはその創造主によって固有のうばうべからざる権利を与えられている。これらの権利のうちに生命、自由、幸福の追求がふくまれている。これらの権利を確保するために政府が人間のあいだに設立され、その正当な権限は被治者の合意に由来するものである。」(1776年7月4日の「アメリカ独立宣言」)



○今年も総会・講演会会場は、原町区小川町サンライフ南相馬です○

4月24日(土)1時~2時 「はらまち九条の会」総会

- ①同封の「総会資料」を総会にお持ちください。
- ②限られた時間ですので、ご意見やご質問、ご提案などを事前に4月20日頃までハガキなどで事務局員、あるいは<〒975-0014 原町区西町3-53-2 山崎健一>宛にご一報ください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

演題「拉致問題解決は“制裁”よりも“対話”で」

そのまま同会場で2時~4時「蓮池透さん講演会」

- ①今、拉致問題で最も注目されている蓮池さんのお話です。「テレビによく出てる人だね!」「チケットはないのか」「会員でなくても入れますか」「話を聴いてみたい」「福島から4人連れていくよ」etc. 嬉しい問い合わせも数多く届いています。
 - ②一般市民の皆様の入場もお待ちしております。お知り合いの方も誘ってください。
 - ③入場の際に、「入場協力料500円」をお願いいたします。
- 蓮池透さんは「家族会」事務局長時代、北朝鮮に対し制裁を求める強硬な発言や行動で目立ちましたが、次第に「圧力よりも対話での解決を」と訴えるようになったため、今年3月28日、「家族会」から退会を決議されてしまいました。▼3月29日付『毎日・朝日新聞』コピー

蓮池透さん兄の退会
拉致家族会が決議

北朝鮮による拉致被害者家族会の飯塚繁雄代表は28日、拉致被害者で帰国した蓮池透さんの兄透さん(55)を、家族会から退会させる決議をしたと表明した。家族会と支援団体「救う会」の合同会議後の記者会見で明らかにした。増元照明事務局長は「透氏は(経済制裁などの)圧力より対話と主張しており、家族会の総意と違ふ」と述べた。

透さんは朝日新聞の取材に対し「まだ何も聞いていない。意見の多様性を認めない理由がわからないが、私を外すことで拉致問題の解決につながるなら甘んじて受け入れる」と話した。



蓮池透さん

5時より 懇親会 会場:花吹雪(会場から徒歩5分の北町・TEL22-8787)

- ①総会後恒例の懇親会で、例年、和やかなお話で盛り上がります。
- ②講師の蓮池透さんも参加されます! 稀有な機会です!
- ③会費3,000円。当日受付です。お気軽にご参加ください。



蓮池 透さんのことば&著書

◆今、拉致問題について、政府も外務省も家族会も救う会も、みんな『制裁』『制裁』というだけで思考停止状態になっている。確かに『制裁』も一つの手段でしょう。しかし私は「制裁は有効な手段ではない、拉致問題解決には効かない」と。それは歴史が証明しています。

◆『制裁』を強め締め上げれば泣きついてくる、「ごめんなさい。被害者は還します」と言うことはあり得ないですよ。制裁じゃなくて、やはり交渉だろうと思います。コミュニケーションをとってネゴシエーションしなきゃ、どうにも動かないんじゃないか。◆憲法9条を変えたら、核を持つとか、軍備強化とか、そういう道に走ると私は思っています。私は仕事柄、核は平和利用にしか使わない、それが鉄則だと思っています。◆私が何か言うと、『あなたのところは、家族が全員還ってきたからでしょう』と言われる。それを言われると弱い。……（ホームページ「マガジン九条」より）

蓮池透さんの著書

○『奪還 引き裂かれた24年』新潮社 ○『奪還 第二章 終わらざる闘い』新潮社
○『拉致 左右の垣根を超えた闘いへ』かもがわ出版



『いのちの山河』 第2回上映会

05月15日(土)

①10時 ②2時

③6時30分

○小高区浮舟文化会館

(チケットは朝日座と共通)

映画『いのちの山河』を観て思うこと <本会ホームページ投稿より>

“市役所主催「いのちの山河」鑑賞会”などはどうでしょう！

映画『いのちの山河』を観ました。いちばんつよく思ったことは、南相馬市の行政に携わる人びと、市長、区長、助役、教育長、全議員、全職員、そして、医療に携わるすべての人びとに観てもらいたいということでした。たくさんの人びとが観に来ていましたが、いま挙げた人びとは、そのうちのどれほどだったのでしょうか？

自治体は住民のいのちと暮らしを守るためのものです。そこに不備・不全があれば、よりよい市政を実現するにはどうすべきかをつねに考える姿勢を、行政に携わる人びとに期待したいものです。市役所主催『いのちの山河』鑑賞会なんてのも、いいですね。医療・福祉・教育・文化を大事にする市政を期待して。 (匿名の徳兵衛さんより)

これから読みたい・気になっている本2点

①『沖縄の海兵隊はグアムへ行く』

吉田健正著・高文研発行・¥1,200

米軍の公式資料ですすでに沖縄の海兵隊グアム移転は決定しているのに、政府もマスコミも語らない不思議さ。もしかして鳩山首相の「腹案」とは、普天間基地のグアムやテニアン移転のことなのか？

②『異評 司馬遼太郎』

岩倉博著・草の根出版会・¥2,100

3月6日開催された県九条の会の講演会『「坂の上の雲」が語らないこと』の講師の著書。司馬氏自身が映像化をためらっていたNHKドラマ『坂の上の雲』は大変カッコウ良くて好評でした。しかし、司馬史観のあやうさ、戦争賛美、侵略戦争の肯定化、明治の栄光を語り軍人たちの英雄視、朝鮮や中国の蔑視など疑問点も数多い。



テレビでもおなじみ！

朝日新聞編集委員

星浩氏講演会

演題「戦後政治と憲法」

04月29日(木)1時30分～4時30分

○福島市福島県文化センター

・協力券(1,000円)は事務局にあります。総会の受付でお申し出ください。

・主催：福島県九条の会



事務局より

◆様々な行事と重なりお忙しいとは存じますが、4月24日(土)総会・講演会は、たくさんの方々に出席していただきたいものです。

◆今年の本会会費1,000円は、総会受付で納入いただければ、事務処理が一週に済みます。

◆講演会の蓮池透さんの連絡電話の口調は大

変ソフトで丁寧で、失礼ですが、映像の印象とは異なります！北朝鮮制裁論からどのように対話論に変わったのか、9条の理念と通じるものがあります。

◆嬉しいことに会員も400名を超えました。でも一方、事務の種類も量も大変多くなって、専任の事務局員や、事務室や事務所も欲しいほどです。

「はらまち九条の会」事務局員連絡先(市外局番 TEL0244)

○平田慶肇会長 TEL24-1211

○山崎健一事務局長 TEL22-8631(〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2)

○井上由美(会計) TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二 TEL22-4037

○早坂吉彦 TEL22-0326

○番場恵子 TEL22-0715

